

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSOALA原田校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されず、お子様の強みや課題にねらいを合わせた支援内容を提供しております。	一人一人の強みや課題に合わせ、ねらいを明確にした活動を提供しております。また、毎日の活動内容を事業所内に掲示し、利用する子どもたちが活動への期待感を持てるようにしております。定期的に「子ども会議」を実施し、子どもたちからの意見も取り入れております。	活動の内容の多様性を高めるために、職員の支援スキルの向上を継続して参ります。地域にある社会資源を有効的に活用し、地域との交流が図れるような活動内容を提供して参ります。
2	子どもの成長や課題をご家庭と共有し、支援の改善に取り組むよう心がけております。	送迎時や毎月のヒアリングを通して、お子様の成長や課題、ご家庭や学校でのお悩みなどを共有しております。また、必要に応じて学校や関係機関との連携も行ってまいります。	子どもたちへの支援だけでなくご家庭への支援も継続して行っていくために、ペアレントトレーニングや保護者会の内容をより充実させて参ります。
3	事業所内で、ペアレントトレーニングや「そあらのひろば」など保護者同士の交流の機会を設けております。	保護者同士の交流だけでなく、親子参加型のイベントも開催し、家族間での交流の場にもなるようにしております。	他事業所の保護者同士で交流できる場を設定し、より多くの意見交換が出来るようにして参ります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもたちと関わる機会を計画的に実施して参ります。	戸外活動で地域の公園や公共施設に出かけた際、障がいのない子どもたちと関わる機会があるため、特別な交流の機会を設けておりませんでした。ただ、公園などでもほかのお子様と関りを持つ子とそうでない子の差はあるので、計画的に交流できる場を設ける必要があると考えております。	近隣の放課後児童クラブとの交流の場を実施して参ります。その際、SOALA原田校を利用している児童が利用している児童クラブに依頼するなど、連携を取りやすい体制を構築して参ります。
2	防災訓練などを開催した際、多くの方に周知できるような体制を整えて参ります。	毎月1回防災学習や訓練を行っておりますが、SNSなどでの発信が十分でなかったと感じております。また、SNS以外の方法での発信も充実していきたいと考えております。	毎月1回防災学習や訓練の様子をSNSで発信して参ります。また、イベント案内や保護者同士の交流の場での周知も行って参ります。
3			